

供覧・決裁						
議長	副議長	局長	課長	課長補佐	係長	
[Redacted]				[Redacted]		[Redacted]

様式第2号 (第3条関係)

令和3年8月6日

丹波篠山市議会議長 様

会派名 青藍会
 代表者名 足立 義則
 又は会派無所属議員の氏名



政務活動報告書

この度の政務活動を下記のとおり報告します。

記

- 活動の種類: 視察調査 ・ 研修 ・ 広報広聴活動
その他 ()
- 活動期間: 令和3年6月30日(水)
- 場所: NPO 法人バイオマス丹波篠山・ギャラリー工房「soarrow gallery&factory」・丹波篠山フィールドステーション
- 活動者: 足立 義則、河南 克典、栗山 泰三、小島 政行、大上 和則、上田 英樹、原田 豊彦
- 活動の概要: 現地視察研修 (別紙)
- 考察: (別紙)
- 活動に要した費用:

費目	詳細	金額	備考
研究研修費	講師謝金 (手土産)	6,150	(株)諏訪園

政務活動調査研究報告書（青藍会）

報告者	会計 原田 豊彦
開催日時	令和3年6月30日 9:30~16:20
開催場所	丹波篠山市西紀地区内及び東新町
調査研究名	青藍会市内視察研修（西紀地区、地域おこし協力隊）
活動の概要 及び考察	<p>最初に訪れたのは、垣屋の(有)山高建設事務所。NPO 法人バイオマス丹波篠山代表の高橋隆治氏と八百材舎（やおざいや）木材コーディネーターの内田圭介氏から説明を受けた後、ペレット工場や色々な木材が集まる「八百材舎（やおざいや）」を視察した。</p> <p>高橋氏は2009年に緑化活動を通じて環境に配慮したまちづくりに貢献するとともに、バイオマスの研究によって環境問題の改善を図ることを目的にNPO法人バイオマス丹波篠山を設立した。広く市民から間伐材を集め、薪やペレットに加工する「木の駅プロジェクト」事業を中心に、森の資源を販売する木材の八百屋「八百材舎」の展開。更には、循環型の森づくりを目指し、山の資源を活用しながら、森づくりのノウハウについても学べる「森林環境教育」も手掛けている。</p> <p>また、森林整備の推進には人工林と二次林を集約化した山道整備が必要とのことだった。</p> <p>次に訪問したのは、口坂本の農家を買取り、お住まいとガラス工房、ギャラリーに改装し、2018年秋にオープンした児玉みのり氏。専門学校を卒業後、愛媛県で修業。京都で創業したが、のどかな田園風景と土地に根差した暮らしがある「丹波篠山」に魅せられて移住。「都会のような便利さはないけど、とても豊かな場所で外から来られたお客さんに案内したくなる場所が沢山あります。今後もそんな丹波篠山に惹かれた人達が益々集まって、今までの魅力にさらに新しい風を送りたいと思います。」と話された。</p> <p>最後に東新町の丹波篠山フィールドステーションを訪れ、2014年から市内各地で活躍する「丹波篠山市地域おこし協力隊」（以下、「協力隊」という）について見識を深めた。</p> <p>協力隊の活動には、大学生・大学院生または研究員で、地域課題の解決に向けた調査研究を行いながら、受け入れ地区のまちづくり協議会等の活動を支援する「半学半域型」と、地域資源を活用して起業し、その成果を地域に還元する事業を行いながら受け入れ地区のまちづくり協議会等の活動を支援する「起業支援型」があるという。</p> <p>現在は6人が各地域で「起業支援型」で活動している。今回は、現役の協力隊員やOB及び神戸大学の清水准教授から活動内容やその悩みを伺った。</p>

◎瀬戸 大喜（1期生、農村イノベーションラボコーディネーター）

「田舎には困りごとを仕事にまで育てる起業家が足りない」と今年から「篠山イノベータースクール」の運営に関わっている。協力隊卒業1期生として丹波篠山市で成果を残すことが使命と感じている。「篠山駅前活性化」という本市のど真ん中の課題に挑戦したい。

◎梅谷美知子（農村インバウンド・うめたん FUJI 代表）

協力隊在任中に3年後の売上を生み出せるような活動ができるかが大切。神戸大学が関わってくれているので「使い捨て」にはならない安心感があった。

◎佐藤 大洋（泊まれる学校おくも村 マネージャー）

令和2年4月からお世話になっており、大芋小学校に住んでいる。江坂さんや地元の方の協力体制がスゴイので助けられている。

◎廣川 景俊（パーマカルチャーを实践できる場づくり）

自然への思いやりや自分や他社への思いやり、分かち合いの心を持って、持続可能な暮らし・場・生き方のデザインを創造していきたい。

◎清水 夏樹（神戸大学大学院農学研究科 特命准教授）

協力隊の皆さんのお手伝いが使命だが、私は地図（計画）を描くよりも目的地までの道のりを描くのが得意だ。だから初動のエネルギーは大変だが、動き出したら導いてあげられそう。

移住希望者へのアプローチは「物件」ではなく、暮らしそのものを提案してほしい。移住者は「自分の地域」が欲しいと考えているので、大家さんや地域のキャラクターが知りたいんだから。

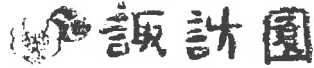
【考察】

・NPO 法人バイオマス丹波篠山では「森林整備」の必要性や手法を学んだが、現状では「市民のあきらめ」がまん延している。面積や場所を認識していない所有者個人が山林整備を担うのではなく、自治会と整備業者（団体）が契約して地域を包括的に整備できるような条例整備の必要性が感じられた。

・ギャラリー工房「soarrow gallery & factory」の児玉さんからは、丹波篠山市に対する愛と移住者間ネットワークの強固さを伝えてもらった。丹波篠山市の魅力は住民では理解できない部分もあるので、移住者間ネットワークと連携し、その発信力を活用した空き家対策を進めていくことが近道と感じた。

・丹波篠山市地域おこし協力隊の皆様からお話を伺って、今まで、協力隊の顕著な活動は認識していたが、今回どんな思いで活動されているのかが良く分かった。今後は受け入れ地域やまちづくり協議会と連携し、協力体制をどう引き出すかが協力隊の成果に直結することから、互いの立場を理解したうえで個々の議員は地域の潤滑剤としての役割を果たすことこそ議員活動の一環と申し合わせた。

茶園菓業



株式会社 諏訪園 千原店
〒379-504 茨城県 水戸市 千原 1-1-4 2
TEL 079-504-2226
FAX 079-504-3336
URL <http://www.suwajoen.com>

〒379-504 茨城県 水戸市 千原 1-1-4 2 #000001
6664

内訳 丹の波の甲、白力 ¥6,150
(3個 x ¥2,050)

小計 ¥6,150
(付加8%対象額 ¥6,150)
(内税額 8% ¥455)
賞与点数 3点

合計 ¥6,150

領 収 書

No. 100001-8126-888A

2017年06月28日

不税8%対象額 ¥6,150 内税額 8% ¥455

様

消費税 ¥455
不税 ¥5,695

¥6,150-

住所

〒379-504 茨城県 水戸市 千原 1-1-4 2

支払不額

消費税 ¥455
消費税等 ¥455

株式会社 諏訪園 千原店
〒379-504 茨城県 水戸市 千原 1-1-4 2
TEL 079-504-2226
FAX 079-504-3336

※取付票は必ず、領収書と一緒に
※領収書は内税額に消費税を別記してください

